

『広報たきざわ』に関する
アンケート調査
報告書

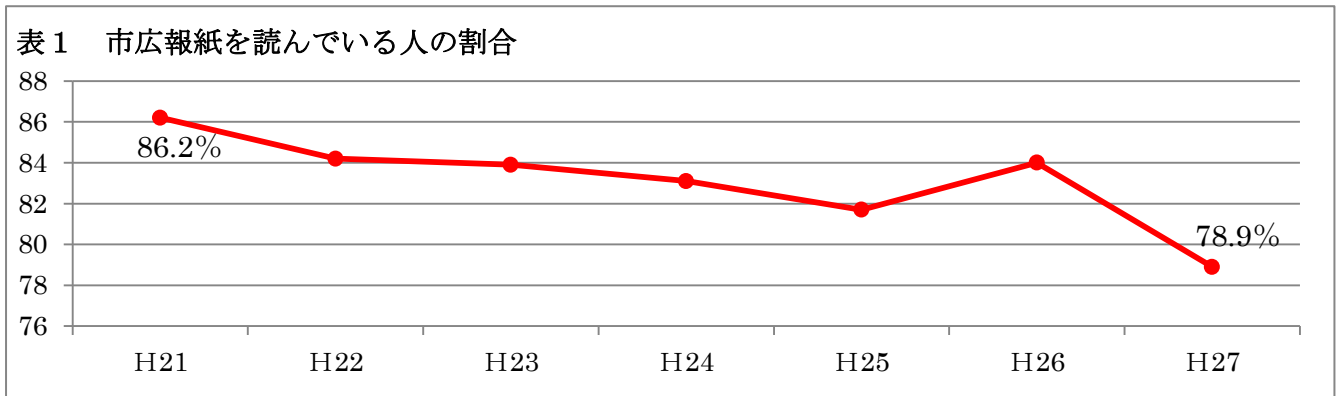
平成28年3月
企画総務部企画政策課

1 市広報紙を取り巻く状況と調査実施趣旨

現在「広報たきざわ」（以下、「市広報紙」という。）は、第1次滝沢市総合計画に基づく市民主体による「幸福感を育む環境づくり」の機運醸成に向けて、市政の方針や政策・施策・事業及び地域の情報などを確実に市民に届けるための主たる手段として位置づけられ、毎月2回（5日号及び15日号）を市内全世帯（約21,500世帯）に発行しています。

しかしながら、アンケート調査によると市民が市広報紙を読んでいる割合は、年々減少傾向（表1参照）にあります。

そのため、市民に親しまれ、的確で積極的な情報発信によって市民が主体的に地域づくりに関わるような基盤構築に活用される市広報紙へと刷新することを目指し、市民の意向調査を実施しました。



（出典：滝沢地域社会に関するアンケート調査報告書）

2 現在の紙面構成

（1）毎月5日号

ア ページ数

平均20ページ

イ 平均的な構成

ページ数	掲載内容
1ページ	表紙
2～9ページ	特集（例：市税、予算・決算、総合計画関連、選挙など）、健康だより、いきいきサロンへようこそ
10～11ページ	話題のひろば（市内で開催されたイベントなどの紹介）
12～15ページ	生涯学習、図書館ガイド、みんなのスポーツ
16～19ページ	くらしのダイアル（各種イベント開催情報等）
20ページ	国体のページ、ペンだこ（編集後記）

（2）毎月15日号

ア ページ数

平均6ページ

イ 平均的な構成

ページ数	掲載内容
1ページ	表紙
2～3ページ	お知らせ記事
4ページ	国民健康保険一口メモ、国民年金のコーナー
5～6ページ	カレンダー

3 アンケート調査概要

「平成27年度滝沢地域社会に関するアンケート調査」にあわせて実施した。

- (1) 調査対象 滝沢市内に住所を有する満18歳以上の男女
- (2) 標本数 3,000サンプル
- (3) 調査方法 郵送による無記名自記式の調査紙調査
- (4) 調査期間 平成27年10月19日～11月4日
- (5) 有効回答数 1,092票（回収率：36.4%）

4 質問項目

- (1) 市民が情報を得る手段についての質問（問7関係）
- (2) 「広報たきざわ」に対する感じ方についての質問（問8関係）
 - ア 「広報たきざわ」への満足度、内容量の過多、発行回数、読み方、読みやすさについて
 - イ 「広報たきざわ」でよく読む記事について（項目から選択）
 - ウ 「広報たきざわ」紙面作成で工夫が必要だと思うことについて（項目から選択）
 - エ 「広報たきざわ」で取り上げてほしい記事について（項目から選択）

5 標本誤差（最大値）について

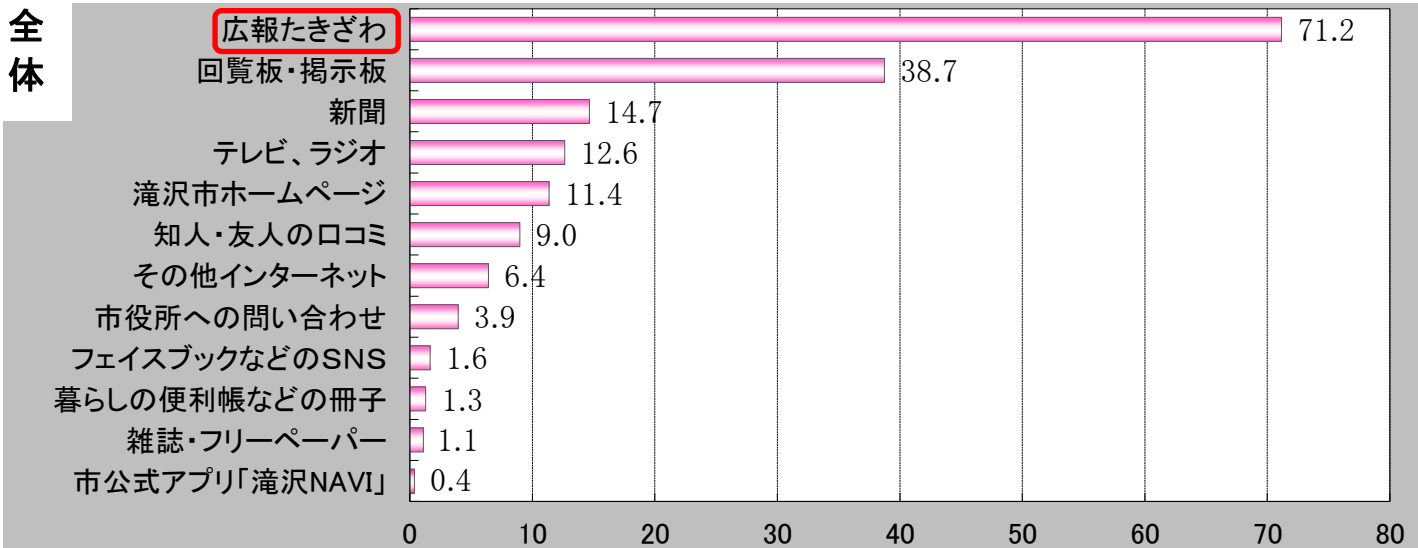
《区分》	《母集団》	《標本数》	《標本誤差》	《標本誤差率》
全体				
18歳以上市民	45,352	1,092	0.029	±2.9%
性別				
男性	22,087	452	0.046	±4.6%
女性	23,265	623	0.039	±3.9%
世代別				
18歳～34歳	10,569	173	0.074	±7.4%
35歳～49歳	11,522	235	0.063	±6.3%
50歳～64歳	11,545	284	0.057	±5.7%
65歳以上	11,716	381	0.049	±4.9%
地域別				
小岩井地域	1,819	36	0.162	±16.2%
大釜地域	2,186	51	0.136	±13.6%
篠木地域	1,136	31	0.174	±17.4%
大沢地域	538	13	0.269	±26.9%
鶯飼地域	8,122	209	0.067	±6.7%
姥屋敷地域	478	11	0.292	±29.2%
元村地域※	15,510	352	0.052	±5.2%
菓子・長根・川前地域	12,624	308	0.055	±5.5%
一本木地域	2,124	40	0.155	±15.5%
柳沢地域	815	21	0.211	±21.1%

6 回答結果について

■問7 あなたは主にどのような方法で、滝沢市で暮らすための情報を得ていますか。あてはまる項目(2つまで)を選んでください。

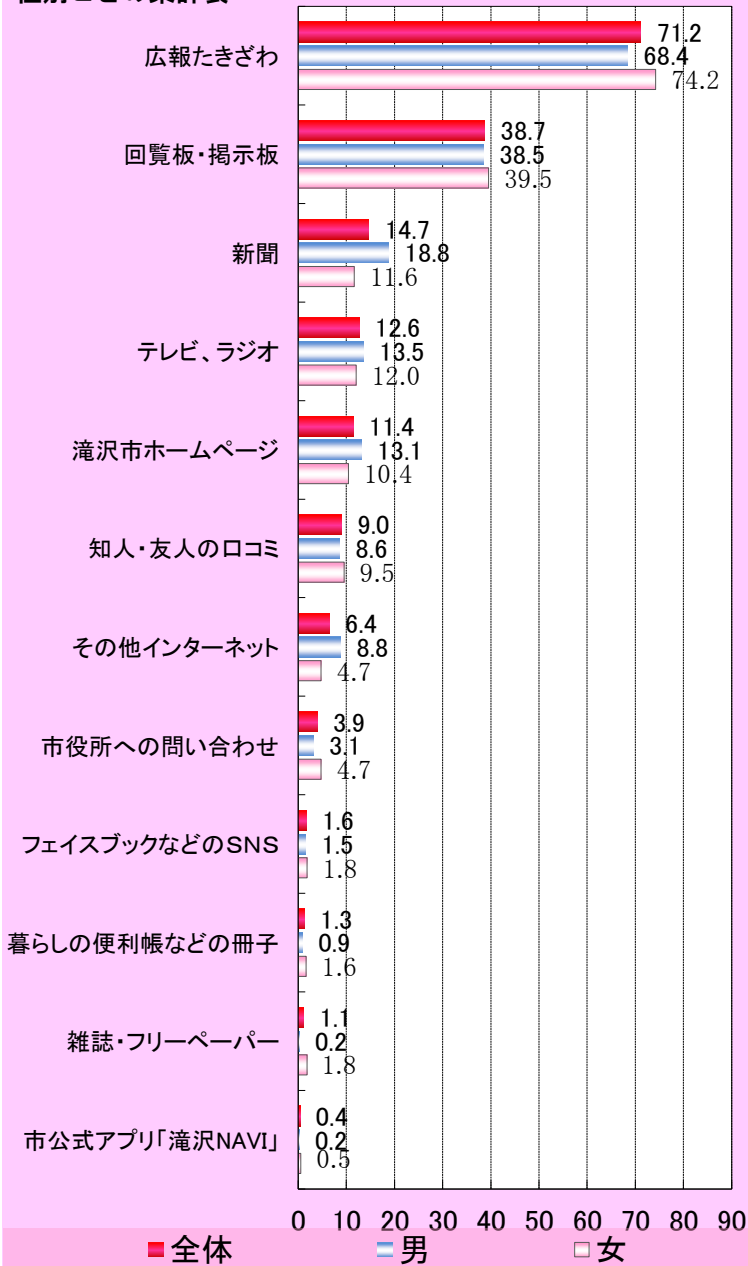
市民が滝沢市で暮らすための情報を得る手段として最も選択割合が多いのは、「広報たきざわ」で71.2%、次に多いのは、「回覧板・掲示板」で38.7%、次に多いのは「新聞」で14.7%となりました。

性別ごとの集計では、「広報たきざわ」を選んだ人は、女性の方が男性よりも5.8ポイント高くなっています。男性の方が上回っているのは、「新聞」、「テレビ・ラジオ」、「滝沢市HP」、「その他インターネット」となっています。また、女性が上回っているのは、「広報たきざわ」のほか、「回覧板・掲示板」、「知人・友人の口コミ」、「市役所への問い合わせ」、「雑誌・フリーペーパー」などとなっています。

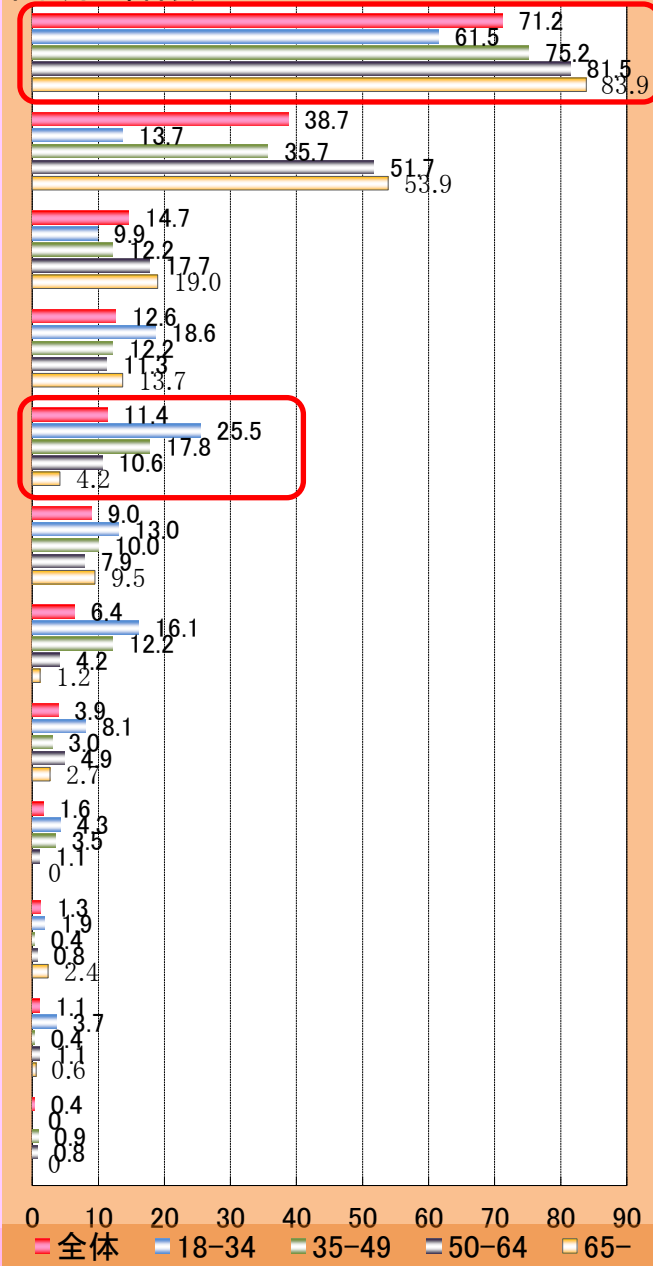


【自由記載意見】家族(5件)、防災行政無線(2件)、知人よりの進め

性別ごとの集計表



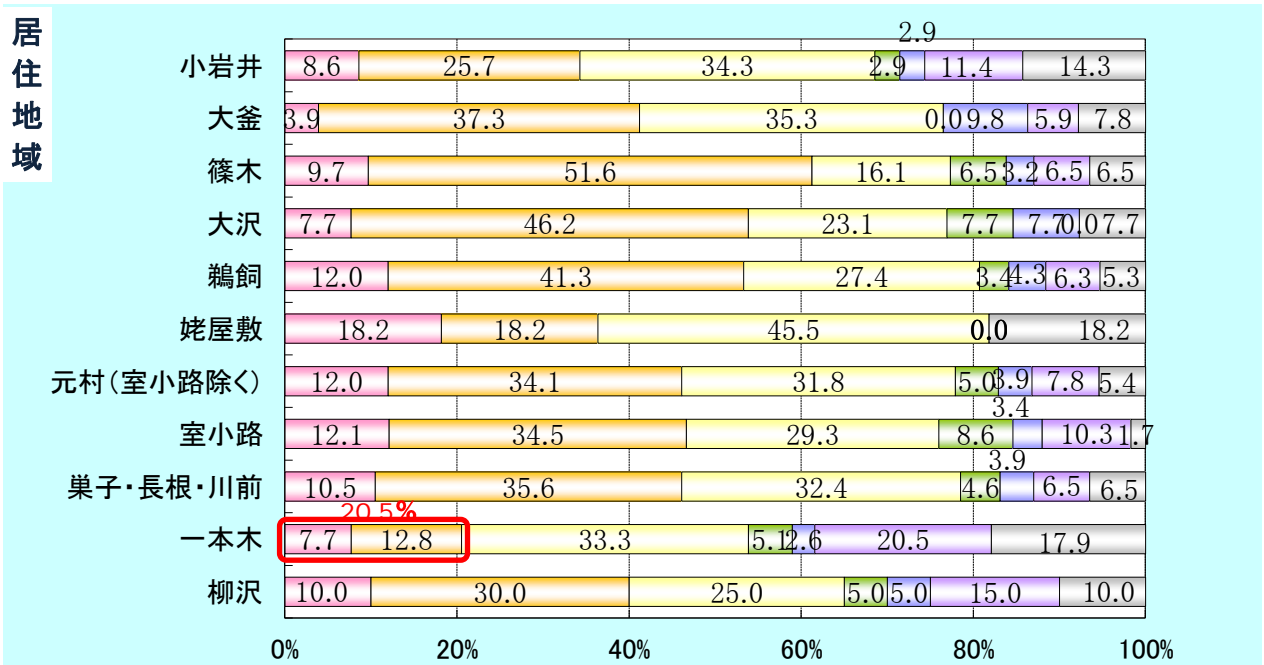
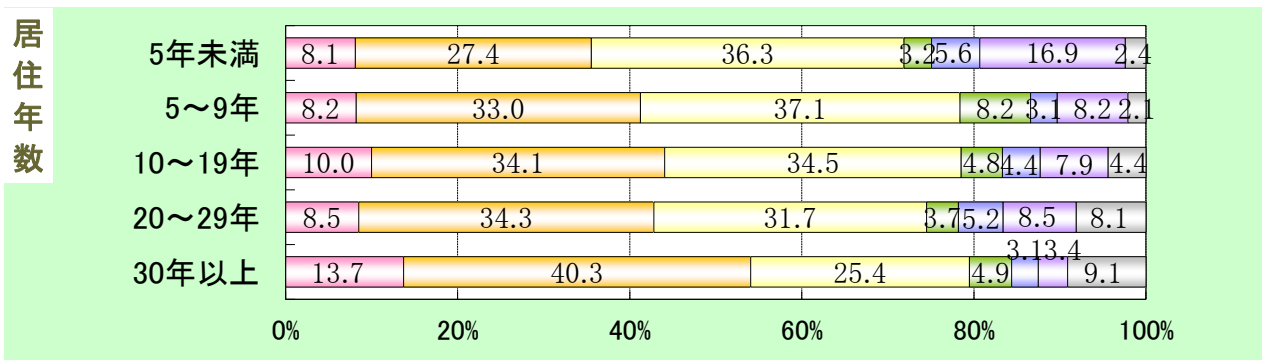
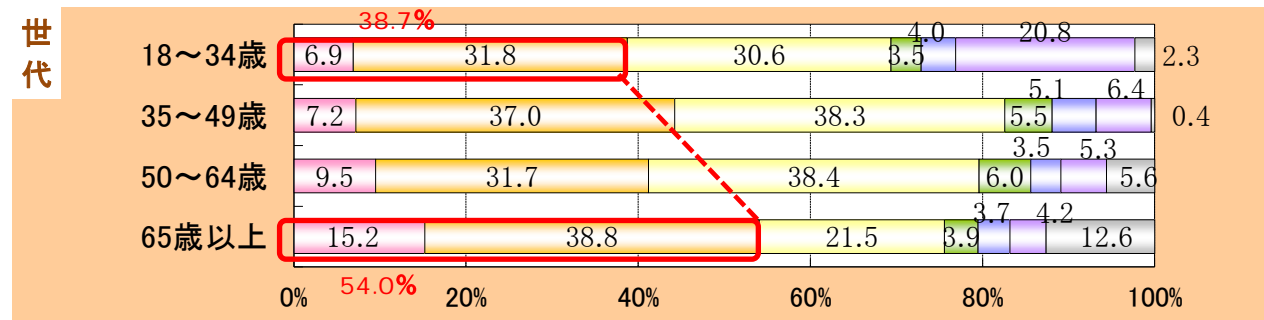
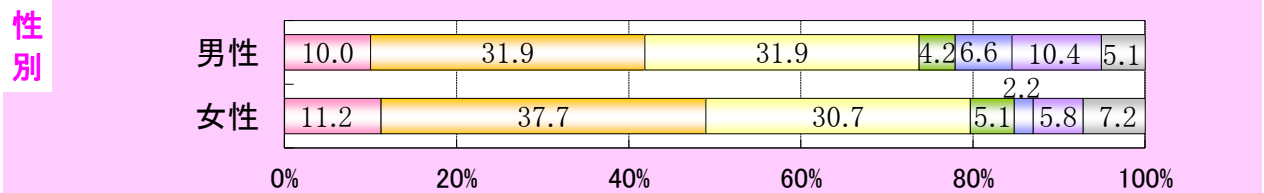
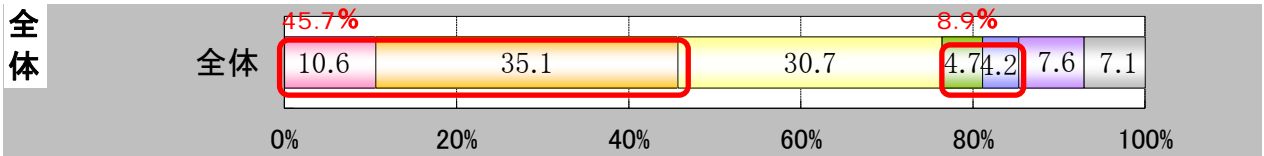
世代別の集計表



■問8 (1) 「広報たきざわ」の内容に満足していますか。

「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた人の割合は、全体で45.7%でした。

性別では、女性が男性を上回っており、世代別では、65歳以上の世代の割合が高くなっています。地域別では、一本木地域での満足度が非常に低くなっています。

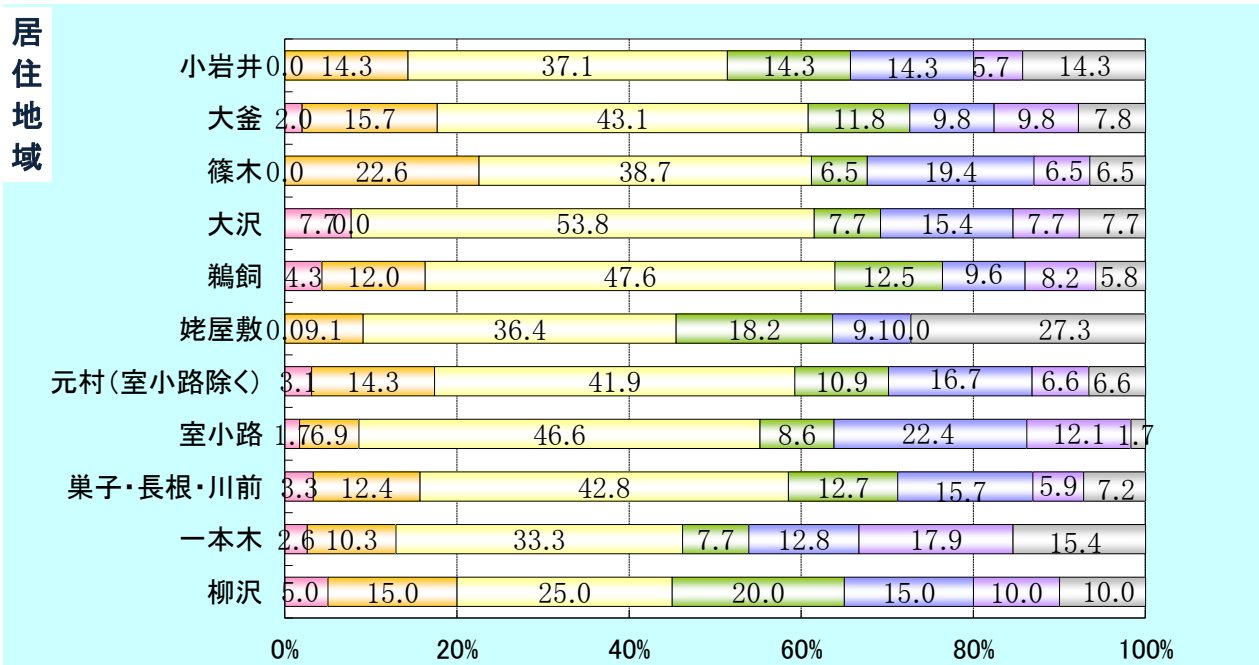
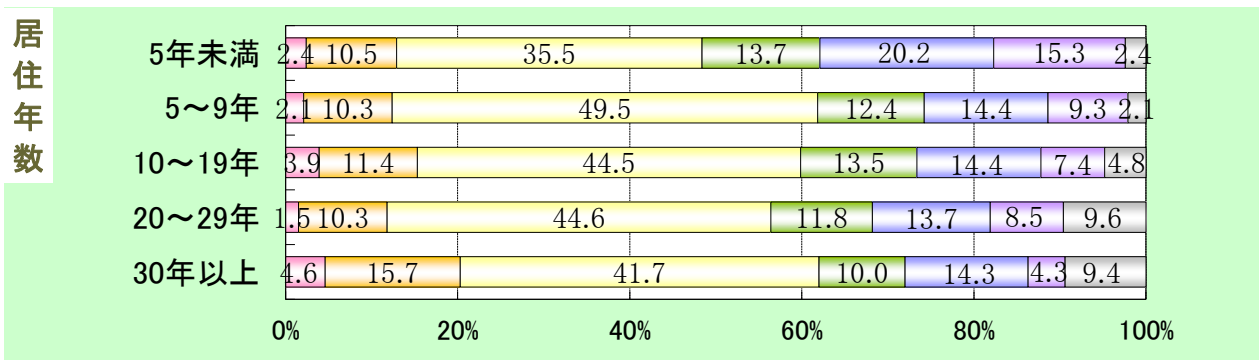
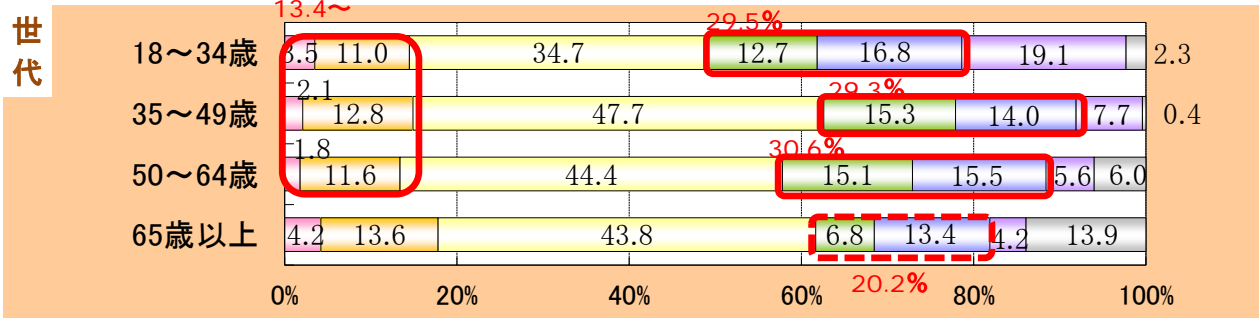
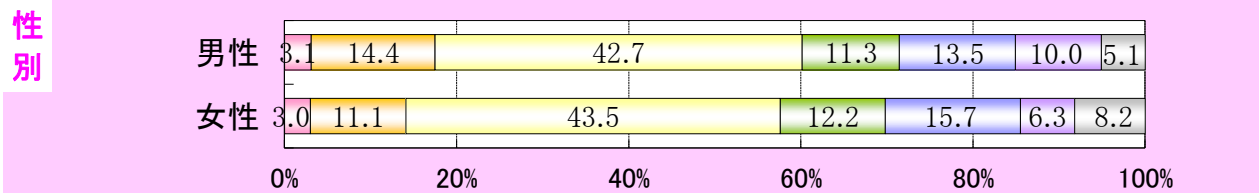
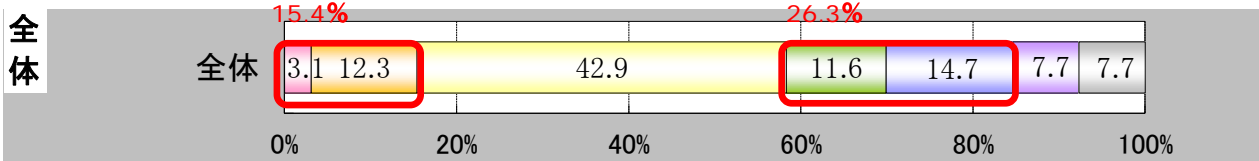


そう感じる
 どちらかといえばそう感じる
 どちらともいえない
 どちらかといえばそう感じない
 そう感じない
 わからない
 無回答

■問8 (2) 「広報たきざわ」の容量は多いと感じますか。

「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた人の割合は、全体で15.4%、「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」と答えた人の割合は26.3%となり、容量は多くないと感じる人の割合が高い結果となりました。

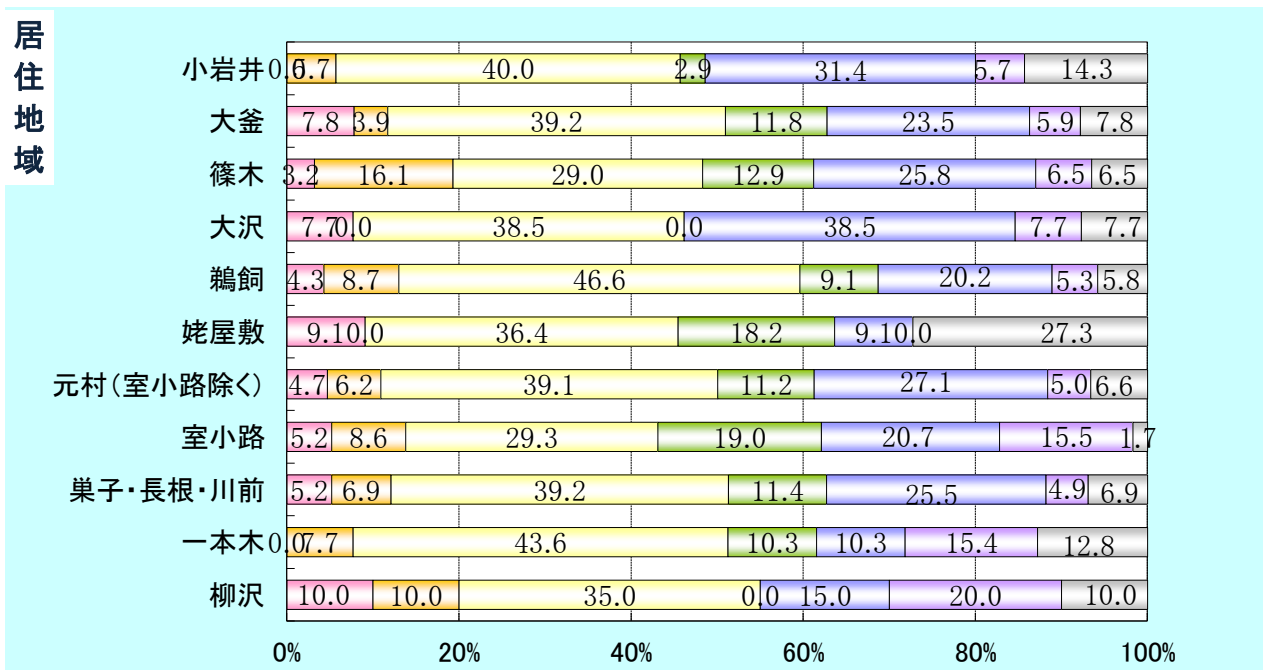
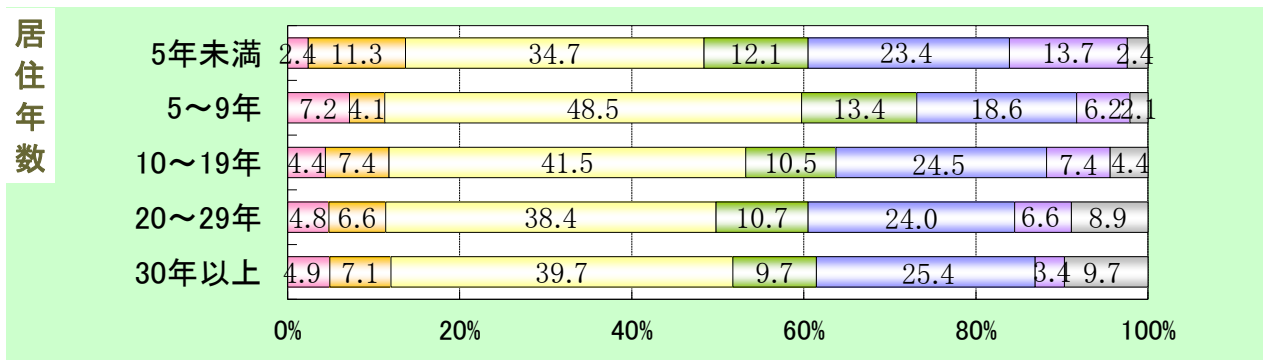
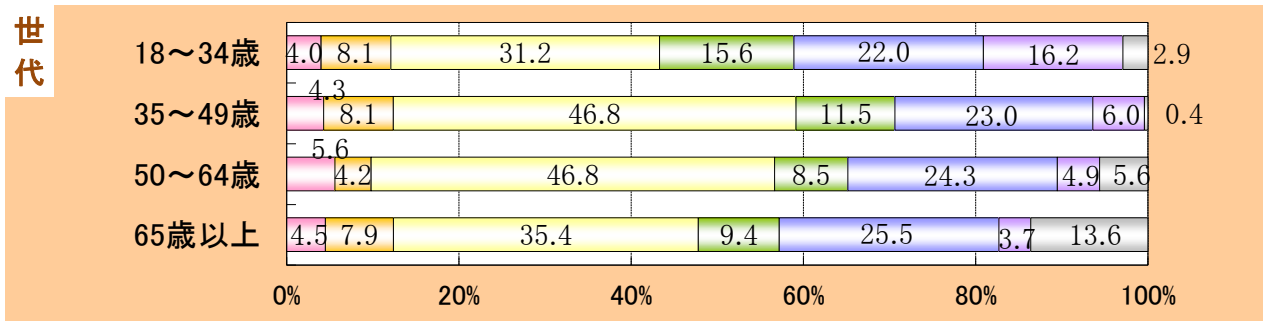
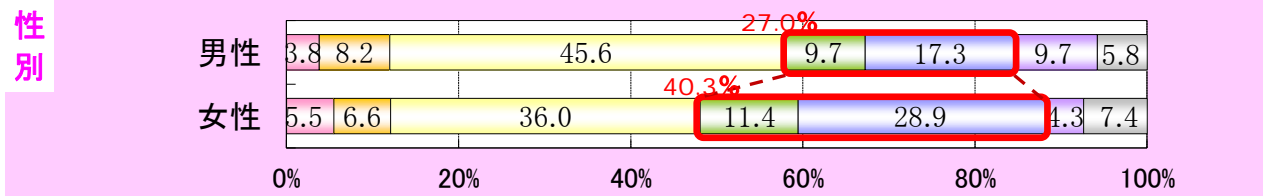
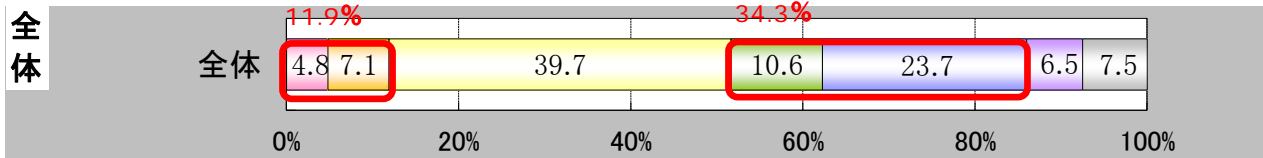
世代別では、64歳以下の世代で、容量が多くないと答えた人の割合が多くなっています。



そう感じる
 どちらかといえばそう感じる
 どちらともいえない
 どちらかといえばそう感じない
 そう感じない
 わからない
 無回答

■問8 (3) 「広報たきざわ」の発行回数が多いと感じますか。

「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた人の割合は、全体で11.9%、「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」と答えた人の割合は34.3%となり、発行回数が多いと感じる人の割合が高い結果となりました。

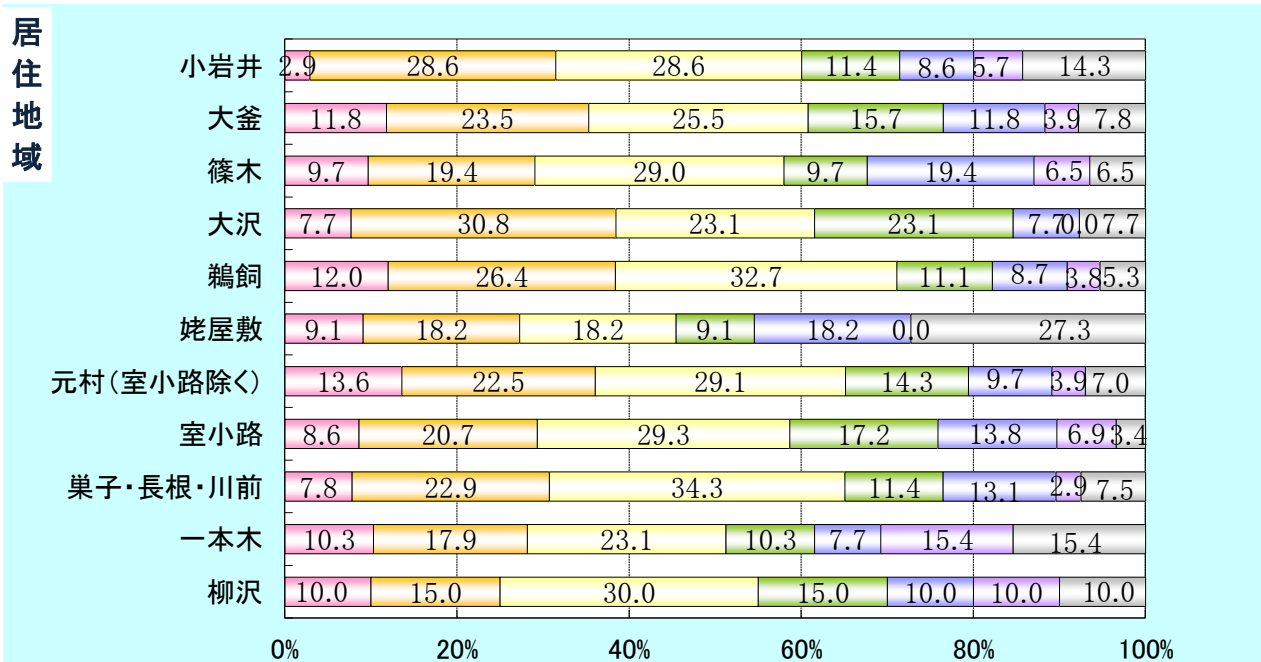
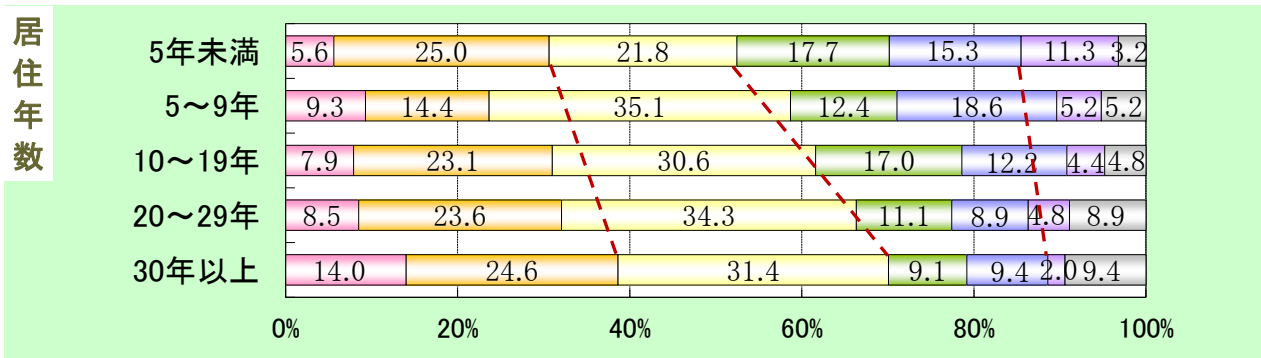
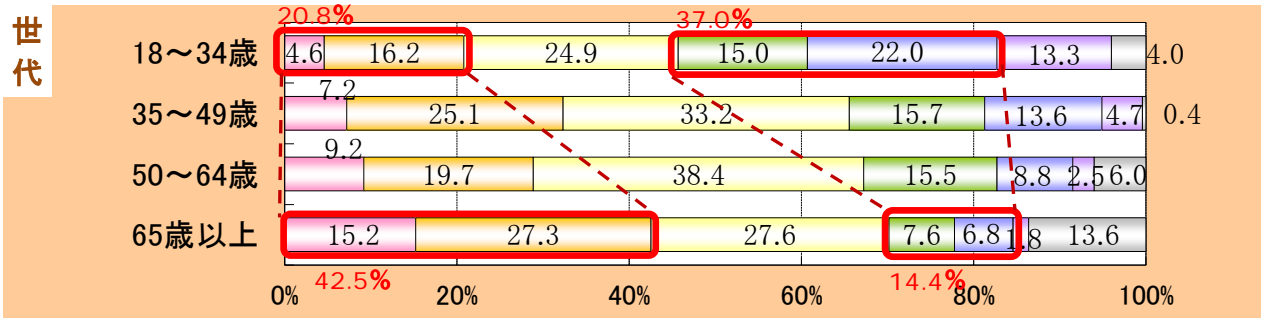
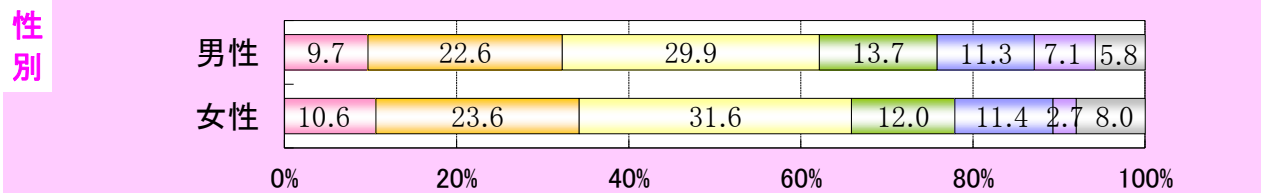
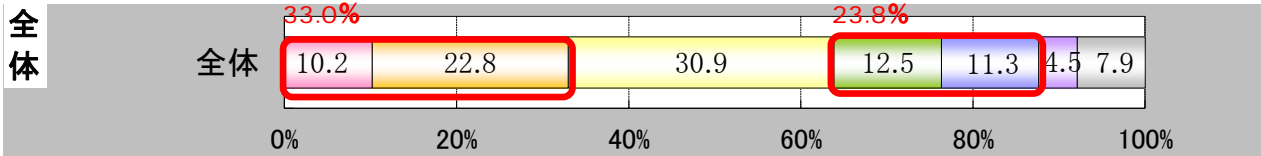


そう感じる
 どちらかといえばそう感じる
 どちらともいえない
 どちらかといえばそう感じない
 そう感じない
 わからない
 無回答

■問8 (4) 「広報たきざわ」を読むときは、時間をかけてじっくりと読んでいますか。

「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた人の割合は、全体で33.0%、「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」と答えた人の割合は23.8%となり、時間をかけないで読む人の割合が多くなっています。

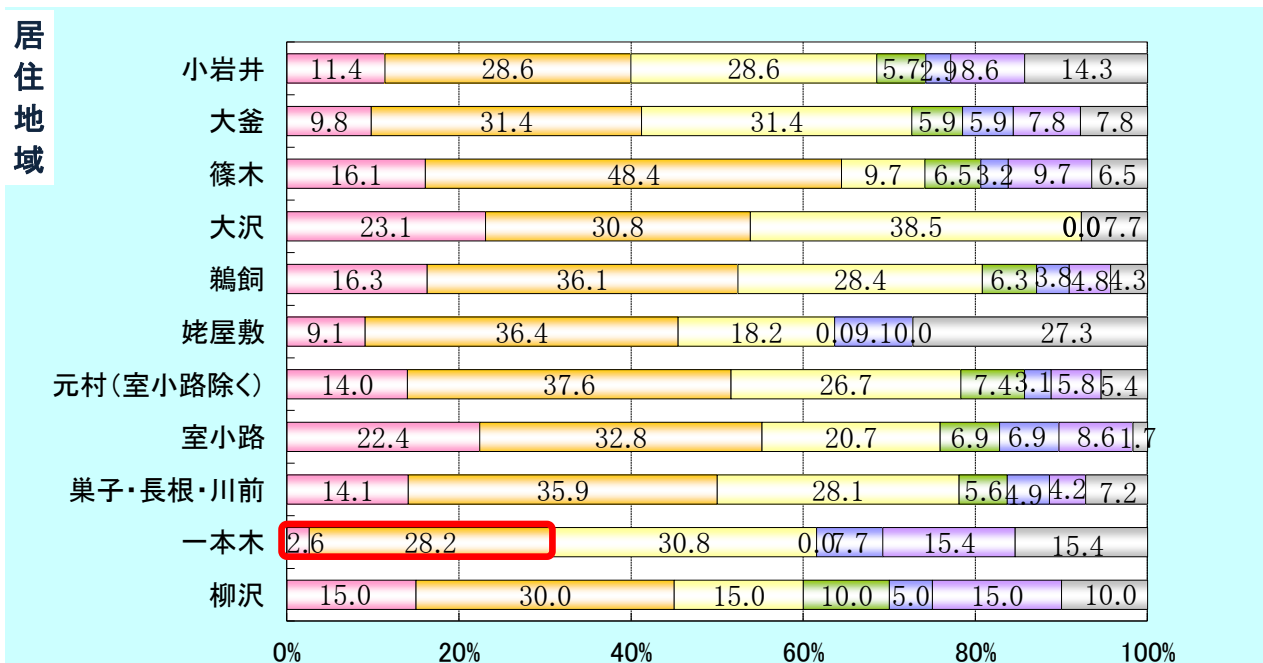
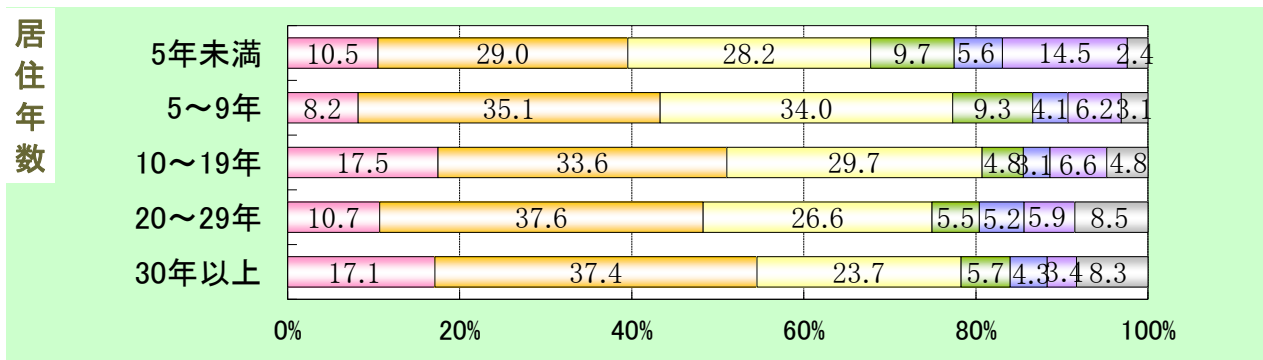
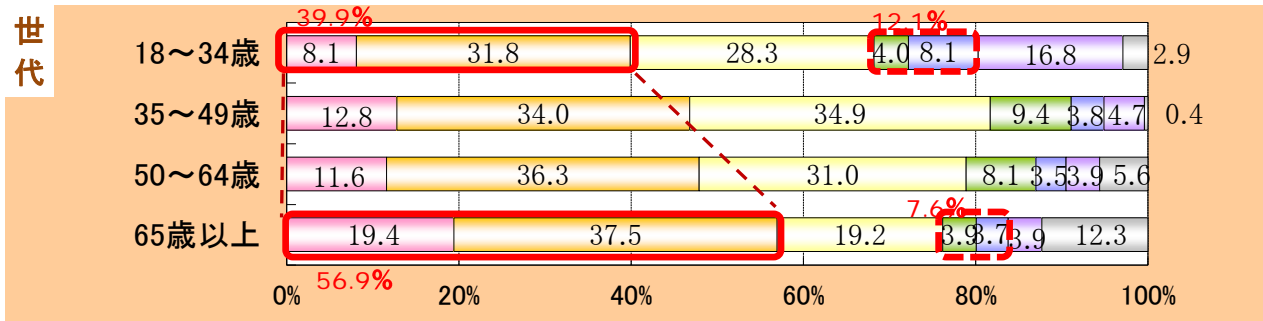
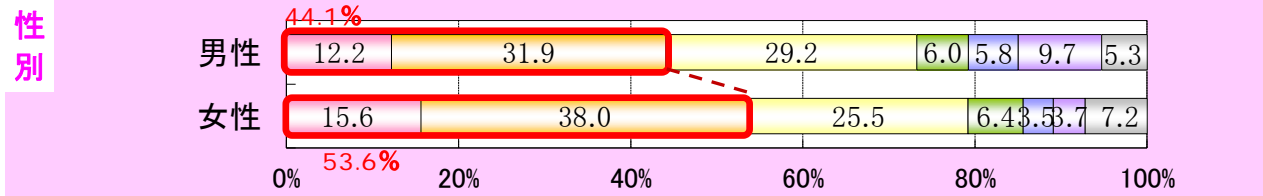
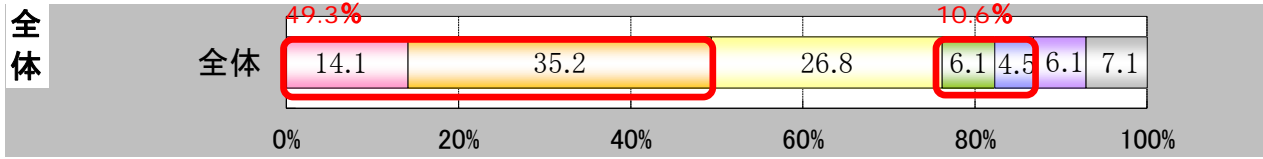
世代別では、34歳以下の世代と65歳以上の世代は感じ方に大きな差があります。



そう感じる
 どちらかといえばそう感じる
 どちらともいえない
 どちらかといえばそう感じない
 そう感じない
 わからない
 無回答

■問8 (5) 「広報たきざわ」は読みやすいと感じますか。

「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた人の割合は、全体で49.3%、「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」と答えた人の割合は10.6%となり、読みやすいと感じている人の割合が多くなっています。性別では、女性が、世代別では、高齢者世代で読みやすいと感じている割合が大きくなっています。

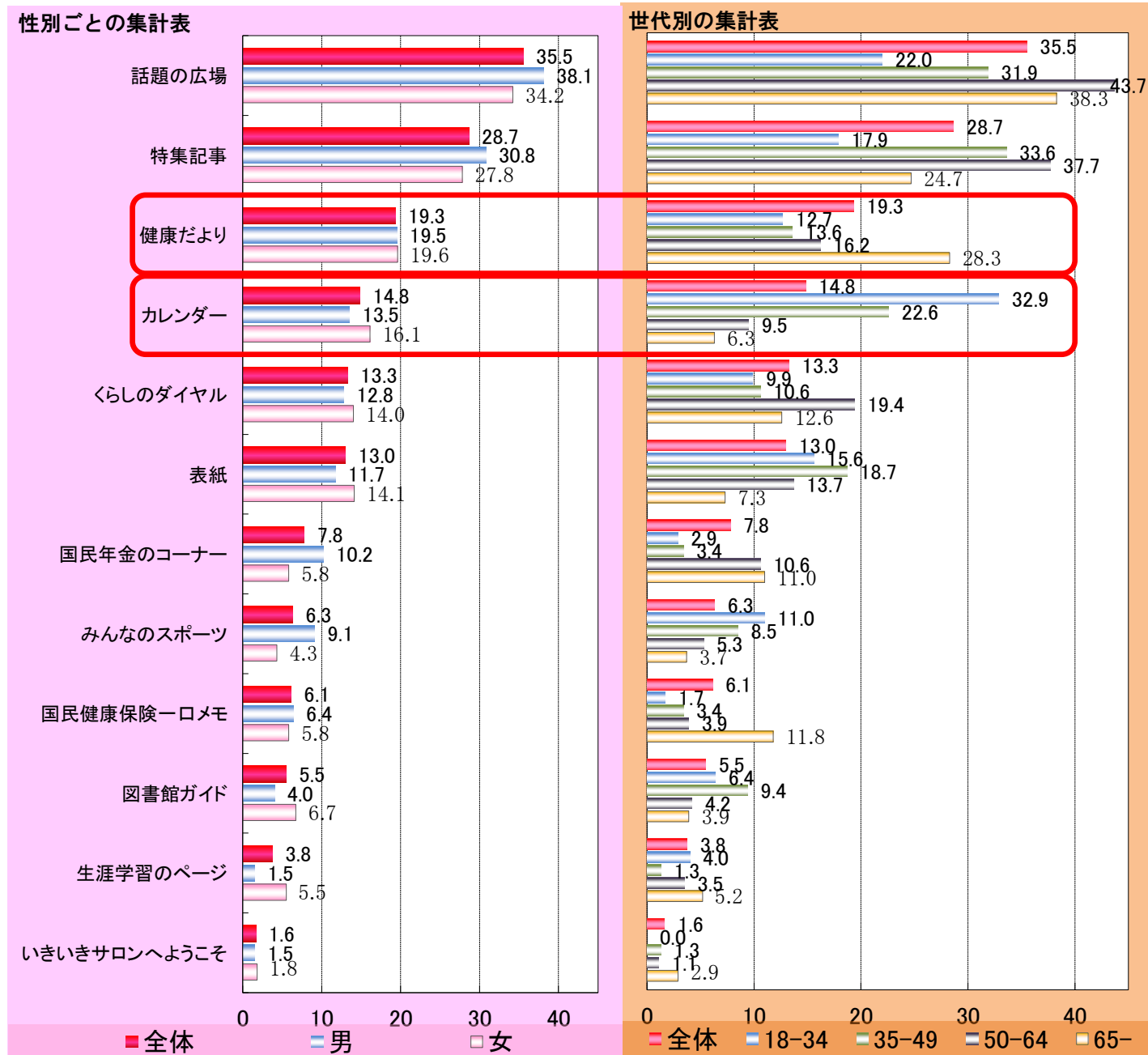
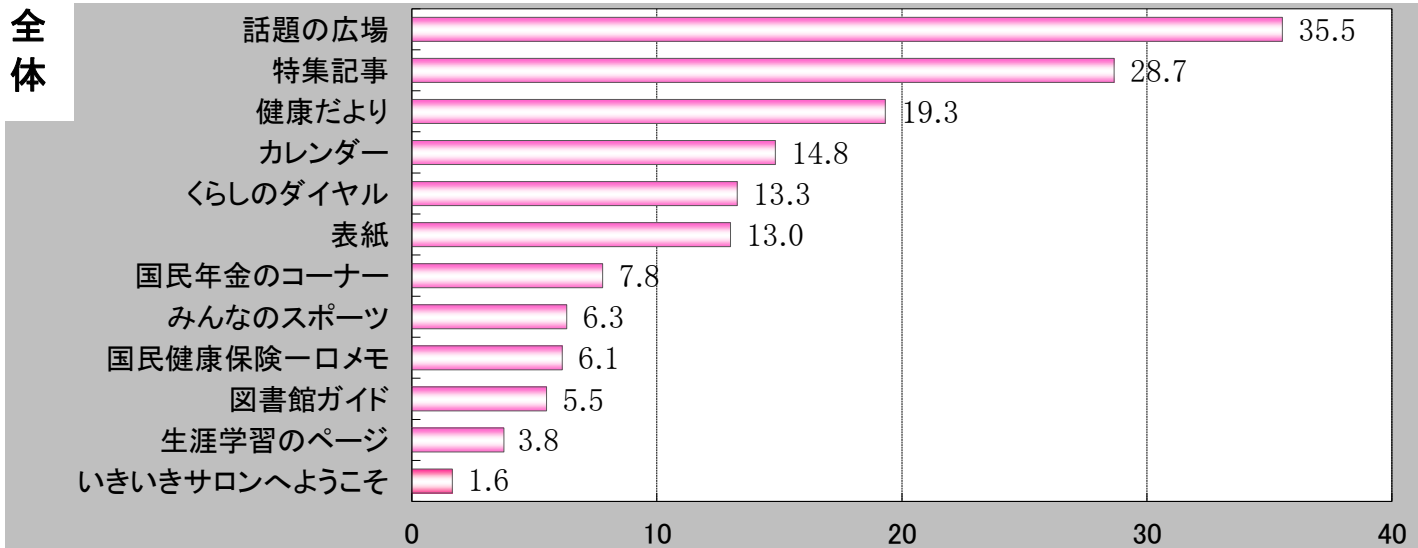


そう感じる
 どちらかといえばそう感じる
 どちらともいえない
 どちらかといえばそう感じない
 そう感じない
 わからない
 無回答

■問8(6) 「広報たきざわ」でよく読む記事について、以下の項目から選んでください。(2つまで)

「広報たきざわ」でよく読む記事について最も選択割合が多いのは、「話題の広場」で35.5%、次に多いのは、「特集記事」で28.7%、次に多いのは「健康だより」で19.3%となりました。

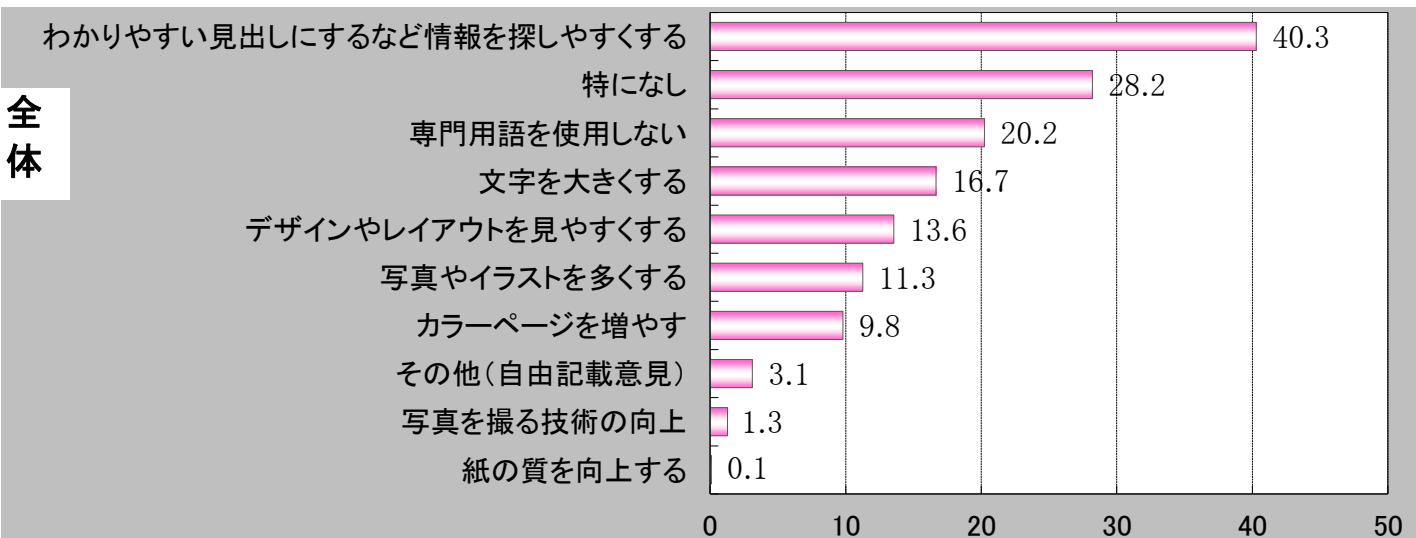
性別ごとの集計では、男性が女性を上回っている項目は、「話題の広場」、「特集記事」、「国民年金のコーナー」、「みんなのスポーツ」などで、女性が上回っているのは、「カレンダー」、「くらしのダイヤル」、「表紙」、「図書館ガイド」、「生涯学習のページ」などです。世代別では、各世代ごとに読まれている記事に大きな差が見られ、広報を読む割合の少ない18～34歳の世代では、「カレンダー」が利用されていることが伺えます。



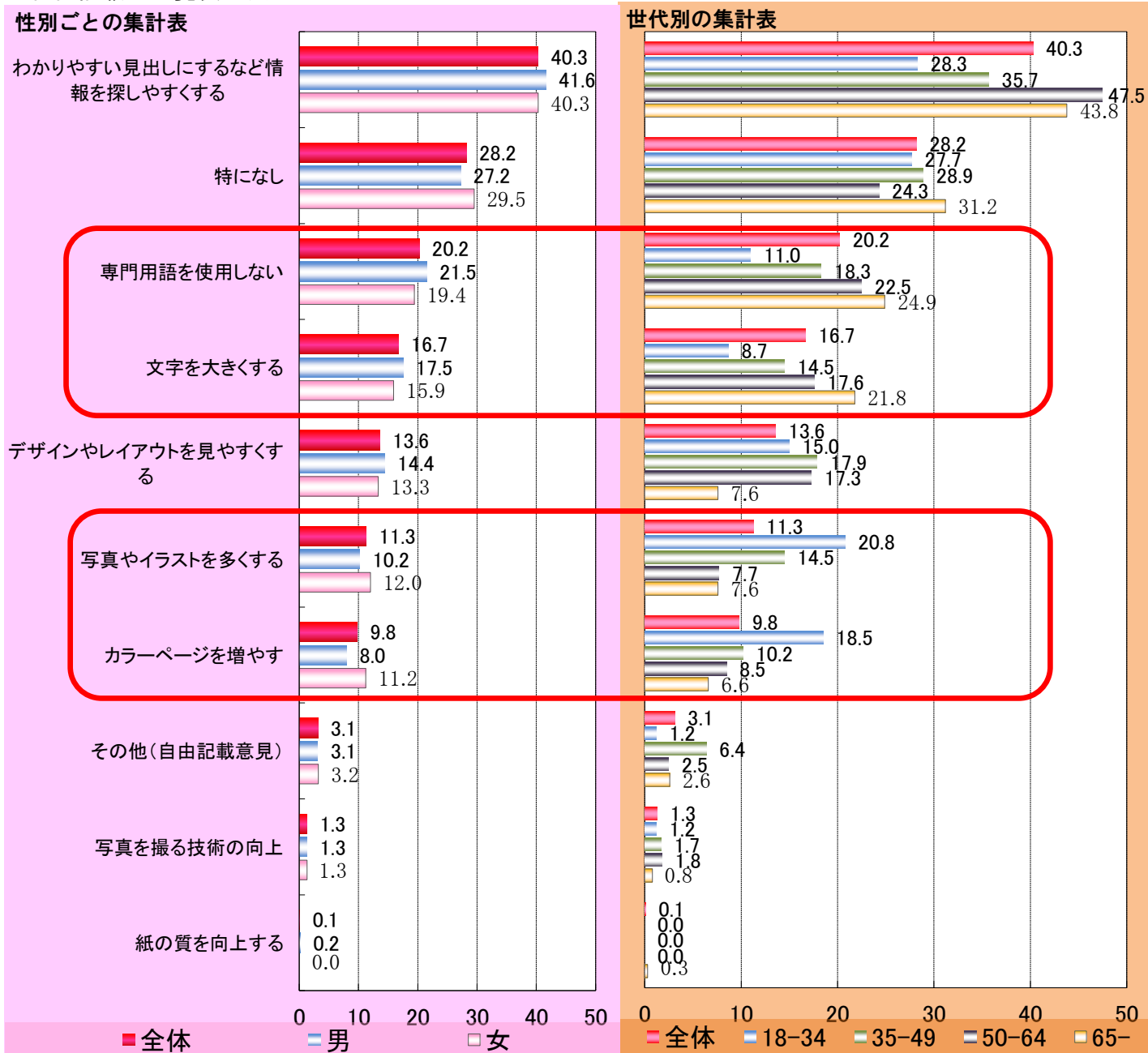
■問8(7) 「広報たきざわ」の紙面を作成する上で工夫が必要だと思う項目を選んでください。(2つまで)

「広報たきざわ」の紙面作成において工夫が必要だと思う項目で最も選択割合が多いのは、「情報を探しやすくすること」で40.3%、次に多いのは、「特になし」で28.2%、次に多いのは「専門用語を使用しない」で20.2%となりました。

性別ごとの集計では大きな差はありません。世代別の集計では、高齢者は「文字の大きさ」や「専門用語を使用しない」ことを求める意見が多い一方、若い世代では、「カラーページを増やす」、「写真やイラストを多くする」ことへの要望が多くなっています。



※自由記載の一覧表は次ページ



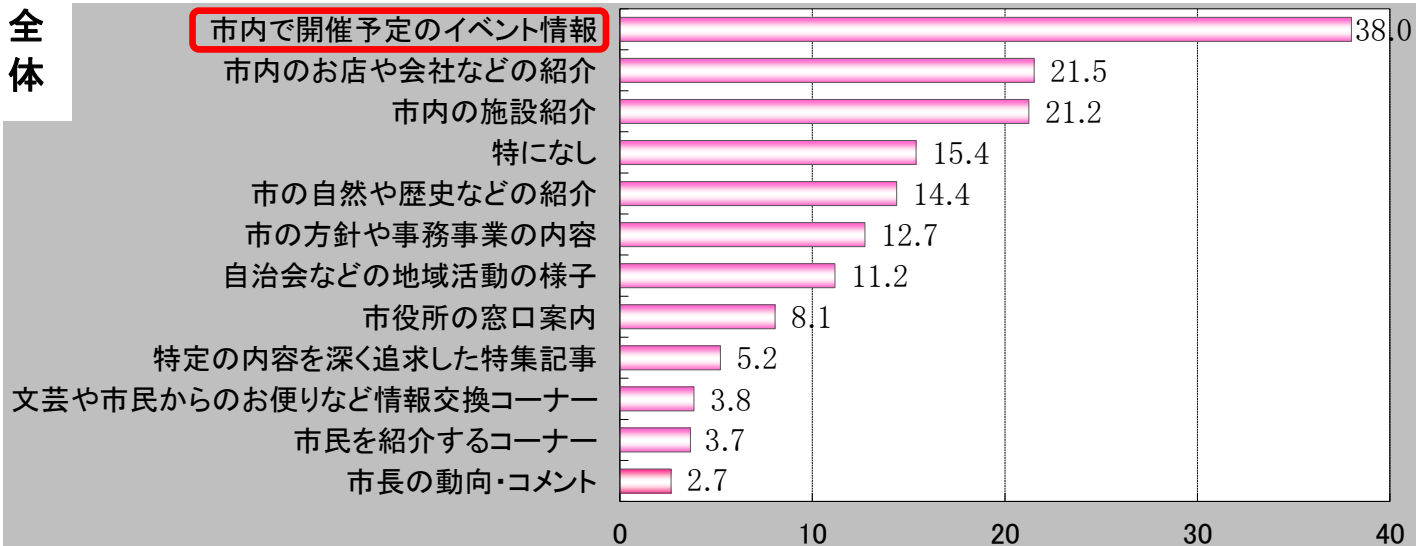
自由記載意見一覧表

全31件

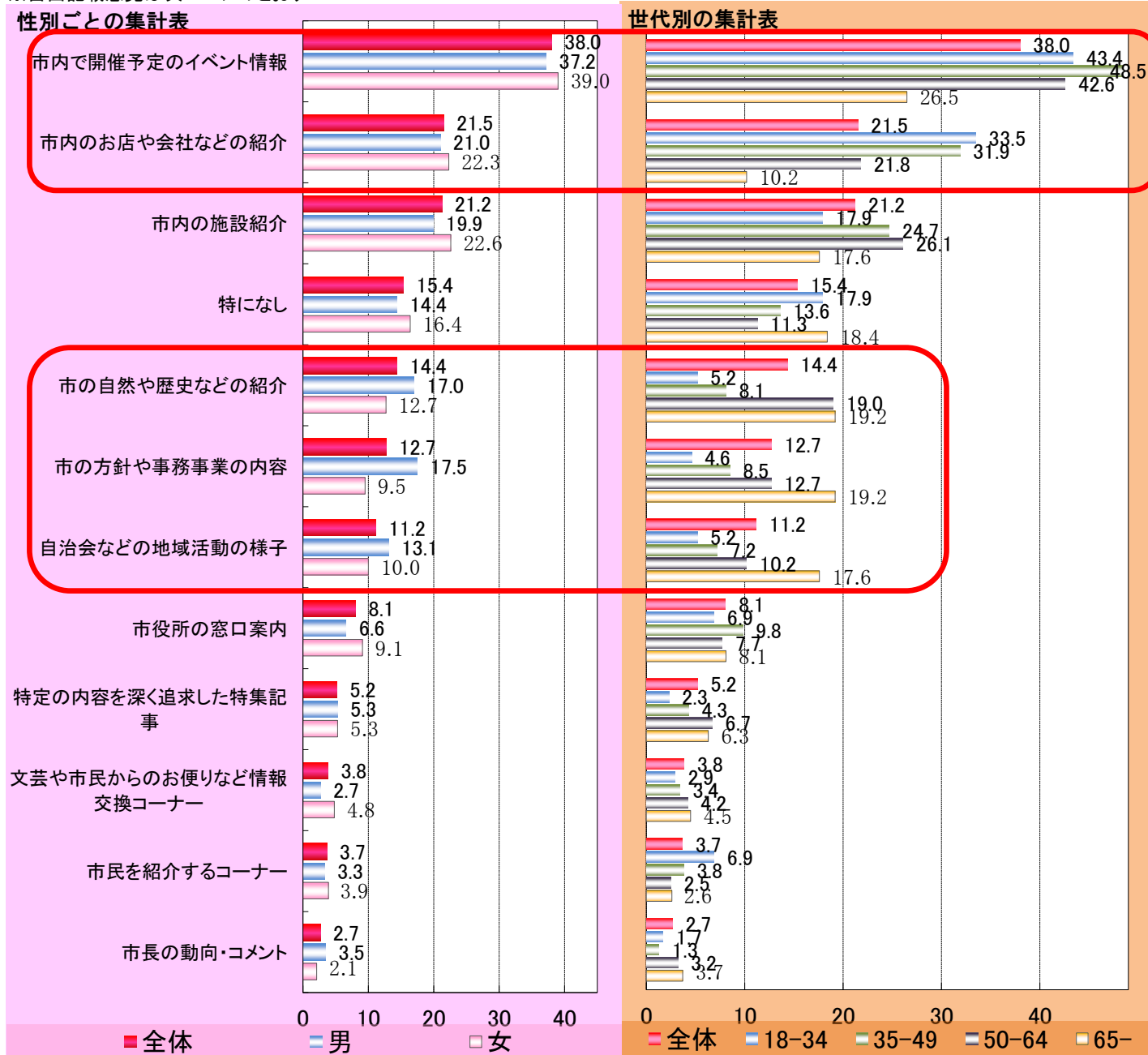
意見項目	意見概要	意見内容
内容量に関すること	内容量を増やす	内容を増やす
		情報量が少ないため、発見が少ないので内容を増やす
		記事数をもっと増やして欲しい。公的なもの、NPOに偏りすぎ。民間企業のも載せてほしい。
	内容量を減らす	忙しい中でも短時間で読み終えるようになるとよい
	用紙拡大について	紙のサイズを大きくする 用紙のサイズ拡大を希望します。
	発行回数の減	月1回でよい(テレビ、新聞、その他チラシがある)
わかりやすさに関すること	文章・用語について	誰が読んでも理解できる文章で書いてほしい
		カタカナ語をできるだけ少なくする
		専門用語には一口解説付ける
		文字が多い
	目次等について	目次を付ける
		特に重要だというお知らせは目立たせる ジャンル別にページを分割ですかね。面白みがない。
その他	引き込まれるような文面作り。もっとわかりやすいように。	
紙面作成に関すること	掲載して欲しい項目	雑多な話題でよいので地域情報のページ数を増やして欲しい。
		新しくできたお店や、グルメなど紹介してほしい
		色々な地域の活動などもっと詳しく知りたいです
		議会のページを毎号設ける(合冊にしてもよい)議員の動きは毎月チェックするように情報提供するのは住民自治をうたう貴市の義務ではないでしょうか。
		滝沢市の情報(生活に必要な)がもっとあるといい
		投書欄を設ける
	その他提言など	市民も参加編集すると(一部の記事でも)声が反映されるのでは
		新聞のようにかたい感じがするので、フリーペーパーのように分かりやすい内容、工夫が欲しい。 盛岡市の広報のように分かりやすく、楽しく。
苦情的な意見		個人名が多いように思う
		上から目線の記事が多い
		税、政治についての記事は読む気にならない
		内容が毎年同じなので新鮮味がない
		世代的な偏りが無い内容にしてほしい
		広告はできるだけ少なくしてほしいのですが・・・
その他		現状でよい

■問8 「広報たきざわ」で取り上げてほしい記事や得たい情報は何か。あてはまる項目（2つまで）を選んでください。

最も選択割合が多いのは、「市内で開催予定のイベント情報」で38.0%、次に多いのは、「市内のお店や会社などの紹介」で21.5%、次に多いのは「市内の施設紹介」で21.2%となりました。性別ごとの集計では男性が「市の自然や歴史」、「市の方針や事務事業」、「自治会などの地域活動の様子」を選んだ人が多く、女性では、「市内でのイベント情報」、「お店や会社、施設紹介」などを選んだ割合が多くなっています。世代別では、若い世代では「イベント情報」、「お店や会社紹介」を選んだ人の割合が高く、高齢者では、「市の自然や歴史」、「市の方針、事務事業」、「自治会活動などの地域活動の様子」の割合が高くなっています。



※自由記載意見は次ページのとおり



自由記載意見一覧表

全26件

意見項目	意見概要	意見内容
経済産業に関すること	求人情報	市内の求人情報など
		求人情報、特に高齢者
		求人情報
		求人情報
		滝沢市内就業先など(求人情報)
経済情勢	経済情勢	経済の動向(市民の暮らし向上にかかわる)と取り組みの報告
		市民が知っておきたい、地場産品やこれからなりうる地場産品の紹介
		市内の飲食店の紹介
		自動車整備の会社の人たちのインタビュー記事
健康福祉に関すること	個別の事業	インフル予防接種の病院ごとの値段
	一般的な提言	市の福祉などへの取り組み
生涯学習に関すること	個別の事業	「チャグチャグ馬っこの里音楽祭」誰のためのイベントなのかわからない、滝沢市を知ってほしいならもっとのせるべき。市が協賛になっていたイベントなのに、広報にも新聞にも取り上げられていなかった。
		高齢者向けの趣味、文化活動の記事
		市の教育などへの取り組み
市の方針などに関すること	市長の方針など	市長の決定した方針や事業等の紹介コーナー
	市議会に関すること	市議会で決定した方針など
その他	広報を読まない	広報を読まない
		見たことが無い
	その他	広く皆に関係したものでなくても、一部の地域の人だけに、関係したものであってもよいと思う。
		交通止めの場所や鉄道の夜間試運転等
		盛岡市の広報は情報が多い
		老人or小さい子供以外の人のための情報が少ない
		ソソっている事が多い気がする、それをたずけてほしい
		35年位前に、滝沢の歴史や地名古い写真の説明を裏表紙に載せていたが再掲を
良い行いをした人のコーナーがあるといい。		
講習の情報		

7 回答結果を踏まえた分析等

(1) 情報の得方

- ・情報媒体では「広報たきざわ」が一番読まれている。⇒広報の重要度は高い。
- ・高齢になるほど広報を読んでいる。若年層では読んでいない。
⇒広報を読んでいない若年層を取り込む方向で紙面を作成する。

(2) 広報の満足度

- ・約半数が満足している。高齢層ほど満足度が高いが、若年層では低い。
⇒必要とされる情報が提供されていない可能性があると考えられる。若者定住に取り組む本市としては、若年層を取り込むような紙面を作成する必要がある。

(3) 広報の容量の多さ

- ・容量は多くないと感じる人の割合が全体的に多い。
⇒ページ数は現状のままでよいと考える。

(4) 発行回数の多さ

- ・発行回数は多くないと感じる人の割合が全体的に多い。
⇒発行回数は現状のままでよいと考える。

(5) 広報の読み方

- ・時間をかけて読む人は約3割で、概ねあまり時間をかけないで読んでいる。特に若年層はじっくり読んでいない。
⇒時間をかけずに読んでも、概要がわかる記事構成とする。

(6) 広報の読みやすさ

- ・約半数が読みやすいと回答。若年層になるにつれて読みやすいと回答する人が減少。
⇒ (8) で併せて分析。

(7) よく読む記事

- ・全体では「話題の広場」「特集記事」「健康だより」「カレンダー」と続く。高齢層では「話題の広場」「特集記事」「くらしのダイヤル」、若年層では「カレンダー」「話題の広場」「特集記事」と続いている。逆に読まれていないのは共通して「いきいきサロンへようこそ」「生涯学習のページ」「図書館がいど」「国民健康保険一口メモ」「みんなのスポーツ」「国民年金のコーナー」が10%以下となっている。

(8) 工夫が必要だと思う点

- ・高齢層では「情報を探しやすくする」「特になし」「専門用語を使用しない」「文字を大きくする」と続く。若年層では「情報を探しやすくする」「特になし」「写真やイラストを多くする」「カラーページを増やす」が上位に入っている。
⇒通常号の表紙と裏表紙についてはカラーとし、同号中ページ及び15日号については1色、カレンダーについては2色としたい。
⇒紙面作成に当たっては、写真やイラスト、適切な余白を効果的に使用し、また文字を大きく統一することで、圧迫感を感じない紙面とする。